

第18回「走近日企・感受日本」中国大学生訪日代表团報告書 团长挨拶

2016年5月24日から31日にかけて、第18回「走近日企・感受日本」中国大学生訪日代表团一行33名は、日本での8日間の訪問を行いました。期間中は、中国日本商会、日中経済協会そして各企業や学校の関係者のご協力ならびにご支援の下、代表団の訪日活動は無事そして円満に期待通りの成果をあげることができました。

今回の代表団は清華大学、中国人民大学、对外経済貿易大学、北京第二外国語学院、中央民族大学そして北京工業大学の優秀な学生及び引率教員により構成されています。日本滞在期間中、代表団は京都、箱根、東京等の地を訪れ、島津製作所、アサヒビール、みずほ銀行、伊藤忠商事、ホテルニューオータニの5つの特色ある大企業を見学し、また京都大学や早稲田大学の学生と踏み込んだ交流をし、さらには日本の一般家庭においてホームステイ体験をいたしました。そして日本企業の進んだ技術や経営理念、環境保全意識を学び、日本の自然景観を堪能し、日本の伝統文化を体験し、さらには日本の人々と深い友情を育むなど、充実したスケジュールの下で多くの収穫を得ることができました。団員らは充実したこの8日間において、細かな観察や思考を通して様々な角度から日本を認識し、それらを日記形式にまとめました。ここに団員らの今回の日本訪問における思いを皆様へご紹介させていただきます。皆様にはこの報告書から、団員らの収穫や感動といったものを感じ取って頂ければ光栄に存じます。

国の交わりは民の親しさにあります。中日の友好関係の発展には、両国の人々、特に若い世代の理解と積極的な関わりが求められます。中日両国の若者らが手を携え、共に学び進歩することで、中日友好交流における架け橋となり、両国の発展に貢献していくことを心から願っています。中日友好協会としましても、日本の各界の皆様と共に両国の民間及び草の根交流をより活発化し、両国の人々の相互理解と友情を促進し、中日関係のさらなる発展に向け、たゆまず努力をしていく所存でございます。

最後に、今回の代表団の訪日に際して多大なご支援を頂いた中国日本商会、日中経済協会及び各関連企業の皆様に、心より感謝申し上げます。

第18回「走近日企・感受日本」中国大学生訪日代表团 团长
中日友好協会副秘書長
朱丹